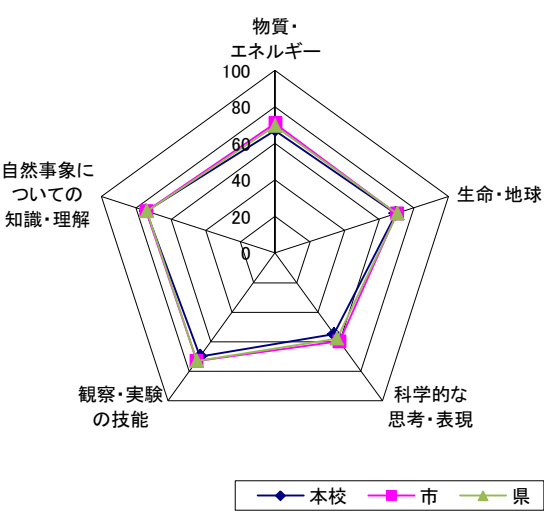


宇都宮市立平石北小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	物質・エネルギー	67.3	71.1	69.6
	生命・地球	69.6	70.0	70.3
観点	科学的な思考・表現	55.0	59.8	57.8
	観察・実験の技能	69.9	73.2	73.0
	自然事象についての知識・理解	74.2	74.3	74.0



★指導の工夫と改善

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
物質・エネルギー	・市の平均正答率を3.8ポイント下回っている。物は形を変えても重さが変わらないことや磁石を近づけてはいけない物の理解については校内正答率が96.9%と高い。反面、自然の規則性や現象を理解し、実験の結果や事象について説明することは苦手である。	・実験や観察の目的や方法について、時間をとって指導し確実に理解させるとともに、結果の見通しをもって実験や観察に取り組めるようにする。 ・実験や観察の結果から分かることなど、考察を自分の言葉でまとめさせ、自然の規則性や現象について理解を深めさせる。
生命・地球	・市の平均正答率を0.4ポイント下回っている。昆虫の変態の順序や植物の体のつくりについては、校内正答率が95%を超え、よく理解できている。虫眼鏡や方位磁針の正しい使い方については、校内正答率が40%を下回っている。用具の正しい使い方の理解に課題が見られる。	・昆虫の飼育や植物の世話などを通して、学習内容から自分の身近な自然現象として理解できるようにする。 ・用具等の使い方については、実験や観察などの活動を通して正しい使い方を指導する。